



社会医療法人近森会

発行 ● 2012年6月25日

ひろっぱ 7

Vol.312

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

回復期リハビリテーション病棟の使命

「重度の患者を立ち上げ 〈自宅〉に帰っていただく」

近森リハビリテーション病院院長
佐々木 司



昨今、霞ヶ関や永田町界限では税・社会保障の一体改革で騒然としている。この原稿が「ひろっぱ」に載る頃には決着が付いているかどうか心許ない。いずれにしても増税は避けられないだろう。しかし、医療・介護に回される予算は期待できない。

さて、今春の診療報酬改定で示されたのは回復期リハ病棟の3段階制で一段とハードルが上げられた回復期1が加わり、旧回復期1は回復期2となり診療報酬は下げられた。現時点で回復期1を取れたのは全国でも数十の施設しかないと聞いている。

幸い当院は3病棟とも回復期1になったが、その維持は困難が予想される。診療報酬改定で示された「回復期リハビリテーション病棟」へのミッションは「重度の患者を立ち上げ〈自宅〉に帰っていただく」の一言に尽きる。これに対する賛否は兎も角、それに当たっての当院で対応策を述べると、

1) 地域医療連携室の設置

- 回復期リハビリテーション受け入れ患者の適応を見極める。
- 早期受け入れ（発症後2～3週間以内）
- 効率的ベット・コントロール
- 退院支援
- 在宅生活のフォローと援助

2) 適切で正確な予後予測と在院日数短縮

3) 教育：自分で考えることが出来る人材の育成

- チーム医療の成熟
 - 専門職としての技能向上
- 4) 先端医療の導入
 - 5) 生活期リハビリテーションへの積極的関与
 - 6) ハードの整備（改築構想）

以上、各論を述べると長くなるので箇条書きにした。リハビリテーションは急性期～回復期～生活期に渡り時期を選ばず必要なことは言を待たないが、回復期に限定するとその適応を改めて再考する時期に来ている。

限られた社会資源を有効に使うため

には持てる力を十二分に発揮し協力して連携を深め新たなコミュニティを創生することが必須である。そうでなければ「楢山節考」の世界が待っている。

ささき まるる

近森会グループ

「新シリーズ！」

メディカルスタッフのワークウェア

近森会グループでは多職種でチーム医療を行っています。白衣を脱いでワークウェアでみんなで頑張っています。次月号より各職種ウェアの「なぜ？ なに？ どうして？」を個別に紹介していきます。



心エコー

近森病院循環器科部長
窪川 渉一

心エコーは、体表から小さな探触子を当てるだけで（＝痛くない）心臓の動きや弁の様子がその場で観察できる、心臓病の診断や経過観察に必要不可欠の検査です。

心筋梗塞では閉塞した冠動脈が栄養

していた部分が動かなくなっている様子を、弁膜症では弁が固くなって開きにくくなっていたり、あるいはしっかりと閉じなくなって血液が逆流している様子を簡単に観察できます。心房中隔欠損症など生まれつき心臓の中に孔が

あいているような心臓病も簡単に診断でき、必要に応じてベッドサイドで繰り返し検査することも可能です。わたしが医師となった二十数年前にはすでに存在しており、心エコーのない心臓病の診療を想像することができないほどです。心エコー出現以前の時代のごときは深谷先生あたりに訊いてみないと分かりませんが……？

装置の進歩も著しく、画像はより鮮明となり、最近では手のひらサイズの機種も登場しています。

わたしが研修医として当院に来た1990年頃、心エコーは医師の仕事で循環器科医師4～5人で年間900件ほどの検査を行っていましたが、質はそれほど高いものではなく、技師の関与も微々たるものでした。

その後当院でも少しずつ技師も心エコーを担当するようになりました。厳しい(?)トレーニングやカンファレンスなどで技をみがき、現在では学会認定超音波検査士3名を含む総勢11名の心エコー担当技師が年間7800～8000件の大部分を施行しています。

医師の負担軽減とともに、専門の技師が多数の検査を行うことにより質が向上し、日常診療の大きな力となっています。 くぼかわ しょういち

7月の歳時記

向日葵

メンタルクリニックちかもり
看護師 伊井 五十鈴

青い空に向かって咲く向日葵。キク科の一年草、原産地は北アメリカで17世紀に中国から日本に伝来。日を追って回る花という意味で、茎の高さは2mにもなるそうです。

海育ちの私ですが、向日葵を見ると、夏休みには海で一日中泳いだり、もぐったり、水平線にはフェリー「さんふらわあ」



絵も著者

が見え、茹でたての玉蜀黍を頬張っている風景が想い出されます。いい いすず

院内で病理診断科に属する私（病理医）の業務は病理学を基盤としています。このシリーズの最終回では、関連するそれらの事項を説明させていただきます。

・**病理学**：ヒトが病気にかかると、通常、身体を構成する細胞、組織や臓器、器官などに、形態や機能、代謝面で変化が生じ、そのヒト（患者さん）には、様々な症状が発現し、検査にも異常が認められるようになります。その際、とくに形態の異常を中心として、病気の原因、成立機序や病態、そして経過や転帰（結果）などを考えます。

・**病理診断科、病理医**：病理診断科は基礎医学～臨床医学に及ぶ広範な病理学の領域のなかで、主として、病理形態学的検査により、日常の診療に直結した診断業務を行う部署です。この診療科は平成20年4月1日から、内科や外科などと同様に「診療標榜科」として正式に認可された新しい診療科で、この認可は日本病理学会の永年にわたる国への働きかけと強い要望の結果、遂に実現しました。認可後は「医行為」である病理診断を担う医師（病理医）の責任はさらに一層明瞭となり、重くなりました。

日常の業務としては①臨床各科から依頼された組織片の生検診断、②体腔や管

腔内より採取した材料および組織の細胞診、③手術材料の病理組織診断、④手術中に採取した組織の一部についての迅速凍結診断を担当します。さらに⑤入院中に亡くなられた患者さんについて、ご遺族のご承諾がいただけると、病理解剖を

— 私の流儀 — 最終回

病理医の業務

病理診断科部長
えんざん ひであき
円山 英昭

実施し、全身の肉眼観察に続いて、病理組織診断を下します。その後、診療を直接担当した主治医と共に、臨床病理検討会

（CPC）に参加して、他の出席者とともに、病態や診療の再検討や治療効果の評価などを考え、ご尊体から学ばせていただいています。⑥病理形態学的観察から得られた結果について、学会発表や論文作成を行う。⑦初期および後期臨床研修医や高知大学医学部5、6年次生（院外臨

床実習）、高知東高校看護専攻科生の病理学研修、学習に協力、指導を行う。⑧医師などの学会発表や論文作成の際、病理学的資料や結果を提供しています。（当院は平成20年4月1日に、日本病理学会認定施設B（第6052号）として、認可されました）

・**病理医と主治医**：主治医は診断を確定するために、患者さんのご了解の下に、病変部から組織を切除あるいは細胞を採取して、病理診断科に提出します。その後、病理のスタッフ（臨床検査技師）が顕微鏡で観察できるように病理組織あるいは細胞診標本を作製し、病理医が診断を下します。私はこの極めて重要な情報（病理組織診断）を主治医に迅速かつ的確に伝達することに留意しています。主治医は病気の「最終診断」ともいわれるこの病理診断をもとに、その他の様々な検査結果や病気の状態を十分に考え、治療の方針や内容を決定し、治療を行います。

今後、病理部門のスタッフ（橘井上、山本、島崎、今本、千頭、北野）と共に、業務実績を着実に積み重ね、臨床各科との連携をさらに密にして、日常の活動度や作業の実効性を増し、基本となる病理診断の精度が高められるように、一同、さらに研鑽します。

患者さんの怒りに 真摯に向き合う態度

近森病院看護部長
久保田 聡美



忙しい臨床の現場では、色々な価値観をもった患者さんやご家族がいらしゃいます。時には理不尽とも思える要求をされて、辛い思いをするナースも少なくありません。いつもはちゃんと対応できるナースなのに、あまりの忙しさにうっかり口をついて出てきた言葉が攻撃の対象になることもあるようです。そんなつもりで言ったのではないけれど…と、患者さんに言いたい

けれど、一度怒らせてしまった患者さんは、とりつくしまもなく…何を言っても「言い訳をするな!」と言わんばかりで切なくなってしまいます。そんなスタッフの様子をみている師長も同じ思いです。「いつもはそんなことを言うスタッフではないのですが…」とか、「あの日は、入退院も多くて、検査も重なっていて…」といったスタッフを庇う言葉がまず口をついて出

てしまいます。時には「あの患者さんやご家族の言動にも問題があると思うのですが…」という発言が聞かれることもあります。忙しいスタッフを思うと、クレームの攻撃の対象になってしまったことがかわいそうだという思いが先に立つのでしょうか。

そんな時、ある部署での申し送りの場で素敵な報告をする場面に出会いました。あるスタッフナースが自分の言動がきっかけで患者さんを怒らせてしまい、管理当直に対応をお願いすることになった経緯を朝の申し送りの場で簡潔にまとめて報告するものでした。そして、その後の師長の言葉が更に素晴らしく、いつもそのスタッフが夜間帯に起こった問題を丁寧に報告してくれる姿勢に感心するといった内容のものでした。その申し送りに参加したスタッフもひとり1人が、自分でも同じ失敗をしたかもしれないという思いで受け止めている様子を肌で感じる事ができました。スタッフ一人ひとりでは、向かい合うことがちょっと勇気のいる問題はたくさんあります。でも、勇気をだして、一歩踏み出し、きちんと向かい合っていけば、きらりと輝くナースに一歩近づくことができる!そう信じています。

くぼた さとみ

第 237 回高知市医師会生涯カンファレンス



増えている 下肢動脈の動脈硬化症

近森病院循環器科部長 関 秀一

でも「年のせいだ」と思い込むことなく、いちどは医師に相談してみてください。せきしゅういち

5月31日『循環器内科医からみた末梢動脈疾患(PAD)について』と題して、生涯カンファレンスを「高知市総合あんしんセンター」で行いました。64名もの皆さんがご参加いただき、誌面をお借りいたしましてお礼申し上げます。

高度経済成長以降、日本人の食生活は急速に欧米化し、糖尿病をはじめとする生活習慣病の増加に伴い、動脈硬化が原因となる脳梗塞や心筋梗塞が増えてきました。その傾向は、四肢末梢においても例外ではなく、なかでも下肢動脈の動脈硬化症が、日本人の高齢化が進むにつれ、問題になってきておられます。

下肢動脈の動脈硬化が進むと、歩いていると足が疲れ、次第に痛くなり、しばらく休むといったのは良くなるものの、歩き始めるとまた同じ症状が生じます。さらに悪くなると、歩かなくても痛みを感じたり、足が黒くなって腐ってきたりします。

このような患者さんの5年生存率は日本人において68.8パーセントと報告され、大腸癌の68.0パーセントと同じくらい怖い病気です。足が痛く

医局のお母さん



近森 正幸

総合医局の中田^{な お こ}七世子秘書が、この6月8日付で退職された。中田さんは10年ほど前に定年になっていたが、先生方の希望もあってパートで勤務していただいていた。

中田さんが就職した36年前の医局は旧三谷組の木造建物(本館南東にあった)2階の集中治療室の隣にあって、医師は14人であった。お正月の日直ではおせち料理をお屠蘇で味わいながら、医局でのんびりしていたことを憶えている。医局会のおときはいつも前院長の心遣いで中田さんが焼くステーキが楽しみで、先生方全員が集

まった。

昭和61年には旧管理棟の4階の図書室横に移り、平成4年新館の完成と共に本館5階に総合医局として移った。

本館の改築工事に伴う取り壊しで中止される医局会は、みんなが集まって各科の垣根を取り、風通しをよくして話ができるようにという主旨で、月に一回、管理棟8階の食堂で医局懇親会として開くことになっている。

中田さんは、食後の珈琲のタイミングを先生それぞれに心得ていたし、手術や検査で食べ損ねた先生や、お腹を空かした若い先生方がとんでもない時間に医局にやってきても、温かいごはんが食べられるように細やかな対応をしてくれていた。

むかし近森にいた先生方が高知に来られた折も、中田さんに逢うことを楽しみにしていた。今回辞められることになって初めて気付かされたが、いそがしく働いている若い先生方に、母親のような愛情を注いでくれていたように思う。

理事長・ちかもり まさゆき

最先端の医療に触れる 貴重な体験に

近森病院循環器科医師 古川 大祐



カリフォルニアの5月は乾季の始まりとのことで、ほぼ全日カラッと晴れており、湿度もほとんどなく、過ごしやすい気候でした。

ロサンゼルスにて、ATTS（アメリカ胸部外科学会）に参加させていただき、一部セッションと、最新の手術デバイスを見学させていただきました。様々な手術デバイスのなかでも TAVR（経カテーテル大動脈弁置換術）関連デバイスは今後日本での導入、適応も期待されているものであり、実際に実物を見学することができ、非常に感銘を受けました。



スタンフォードではスタンフォード大学の主に、循環器内科のカテーテル室、心エコー室と集中治療室の施設見学をさせていただきました。研修前はあの有名な「スタンフォード大学」で

後列左から、古川（循環器科医）、入江部長（心臓血管外科）、藤井泰宏先生（スタンフォード大学小児心臓外科、キャンパスをご案内下さいました）、廣井（臨床工学技士）
前列左から、大熊（ソーシャルワーカー）、真壁（管理栄養士）、竹内（集中治療室看護師）

目指していたアメリカは……

近森病院臨床栄養部管理栄養士
真壁 香菜



「日本の栄養士はアメリカの栄養士に遅れをとっている」。学生時代講義に来られた宮澤臨床栄養部長の言葉です。アメリカ臨床栄養士像に憧れ、近森病院へやって来ました。近森病院で勉強し、必要ならばアメリカへ行こう、そう心に誓い。

それから4年、入江心臓血管外科部長のご配慮により、スタンフォード大学病院の臨床栄養士の現場を見学する機会をいただきました。

スタンフォード大学病院では心臓血管外科領域の臨床栄養士さんに同行しました。臨床栄養部は14名（外来担当4名）で構成され、栄養スクリーニングは看護師さんが行います。介入症例は栄養スクリーニング抽出症例と、主治医からの依頼例で、臨床栄養士一人の担当患者数は平均20名とのことでした。

常にエビデンスに基づいた栄養管理を意識され、インターネットに接続された電子カルテ PC において各種ガイドラインの確認ができる環境がありました。必要エネルギー量の算出式は

病態別に数多く用意され、経腸栄養や中心静脈栄養の処方設計の実際も拝見しました。

当院との違いについてもディスカッションし、CD toxin 陽性時の経腸栄養の処方や IABP 挿入時の栄養投与ルートを選択は意見が異なり、IABP 挿入時はガイドラインに基づき、腸蠕動音は聴取せずに胃管排液量を指標にする等、興味深い返答をいただきました。

エビデンスを日々の症例に落とし込み、臨床業務を行っている姿は大変勉強になり、ワールドスタンダードな栄養療法へもっと目を向ける必要があると強く感じました。ただ、近森病院での日々の業務は決してアメリカの栄養士へ引けをとるものではなく、今のまま着実に、まだ自分の知らない世界を広げていく努力を惜しまず歩んでゆけばいい、そう大きな自信を持って帰ってきました。目指していたアメリカは、近森にあり。入江部長、宮澤部長をはじめ、不在期間にご迷惑をおかけした臨床栄養部スタッフに心よりお礼を申し上げます。 まかべ かな

は、いったいどんな最先端治療が行われているのだろう、と期待と緊張を感じながら臨みましたが、実際は施設や医療機器は我々が使用しているものほとんど同じで、治療内容も大きく違うものではありませんでした。最先端の医療に触れる貴重な体験であったとともに自分たちの診療にも自信を持つことができました。

今回の海外研修は初めて（海外すら人生2回目）だったのですが、英語力の必要性、自分の英語力のなさを痛感しました。これを機会に語学学習にも力を入れていきたいと思います。

最後に、今回研修に行かせていただく機会を作っていただいた、近森病院、循環器スタッフのみなさま、入江先生にお礼を言わせていただきたいと思います。貴重な体験をありがとうございました。 ふるかわ だいすけ

私の趣味 スノボ、サーフィン、釣り

近森病院救命救急センター看護師
榎尾 幸聖



私の趣味は三つあり、スノーボード（以下スノボ）、サーフィン、釣りです。2月に院内旅行でスノボに行ったのでスノボについて書きます。とはいえ全く下手で、20歳の時からサーフィンと同時期に始め、板に立って滑るという感覚にすっかりハマり38歳の今まで続いています。しかしスノボに行くのは最近年に2回程度で、院内旅行と整形外科 & 外科ツアーくらいです（とても安くて楽しいですよ）。

どちらかといえばサーフィンの方が好きで、理由はスノボはリフトに乗り山の上から滑る！から始まりますが、サーフィンはまず息継ぐ間もなく次から次に来る波をかいぐり、ヨダレ鼻水を垂らしながらやっとの思いで沖に出る！ ことから始まり、さあ乗ろうとすると上手い人に横から波を奪われ、時には肩が回らず立てることなく波に置いていかれたり波にモマれたり……、などドMの僕にはたまりません。と、結局サーフィンのことを書いておわりました。

こんな感じでちょくちょく行っていますので興味がある方は一緒に行きましょう。あつ、釣りもです。 かしお こうせい

安全運転管理者協議会連合会より

優良安全運転管理者
表彰を受けました近森病院第二分院事務長
和田 廣政

6月19日に三翠園に於いて、高知県安全運転管理者協議会連合会より優良安全運転管理者表彰を受けました。これは、日頃の事業所の安全運転への

取り組みが評価されたもので引き続き事故、違反のない安全運転にご協力をお願いします。

近森会グループでは今年の安全運転

24年度安全運転目標

- ・一時停止を守ろう
- ・車間距離を十分とろう
- ・ゆとりのところで安全運転

目標を決め、安全運転に取り組んでいます。対象は業務で運転する職員だけでなく、自動車、バイク、自転車を運転するすべての職員が対象です。安全運転モデルとなる運転を心がけてください。6月1日より8月31日まで安全運転管理者選任事業所「第36回無事故運動」を実施中です。ご協力をお願いします。 わだ ひろまさ

ザ・RINSHO 1 臨床検査部

「新シリーズ！」

検体検査の多くがブランチラボに

近森病院臨床検査部
技師長 今村 初子

臨床検査は血液、尿などの検査を行う検体検査と、患者さんに直接検査を行う生理検査があります。検査部は2003年10月に検体検査の生化学、血液、尿検査がブランチラボとなり、輸血、細菌、病理検査を残して、生理

細菌、病理検査のすべての部門が拡充し、認定資格を有する技師も増えていきます。 いまむら はつこ



新館二階に検体検査室があったときの様子。写っているのは検査技師の坂本希さん

検査を主体とする体制に再構築されました。

目標は

- ・医師が医師本来の仕事に専念できるように技師が診療支援を行う。
- ・技師は専門性を持つ。
- ・「臨床」の検査技師になる。

ということで従来医師が担当していた領域を、技師が専門分野として業務拡大していくことになりました。

9年前は検体検査が中心で、24時間緊急検査を実施するために、自動分析機器や搬送システムを導入して、質的向上、効率化、迅速化を図り、当直では全員がどの検査にも対応していました。

現在では、超音波検査（心臓・腹部）に多くの技師が従事し、内視鏡検査、採血（外来・入院）、そしてチーム医療の一員として仕事を行い、臨床と関わる機会が多くなりました。目標に向かい成長し、技師数は21名から52名に増え、生理検査はもちろん輸血、

院外エッセイ

魔性の東京タワー

上野 敏彦 記録作家



うえの・としひこ 1955年神奈川県生まれ。81年から3年間共同通信高知支局に勤務、現在同社編集委員。著書に『闘う純米酒 神亀ひこ孫物語』（平凡社）など多数。

もう30年も前になるうか、宿毛に取材に出かけ、オレンジ色のダルマ夕日が海に沈む場面を見て感動したことがある。酒飲み天国・土佐で若いころ記者生活を送ったため、夕闇に浮かぶ赤ちょうちんの世界が今でも好みである。

そうした性分なので、東京で暮らしていて東京スカイツリーブームが今一つピンとこない。メタリックシルバーの威容には距離を感じてしまうので、むしろ老舗・東京タワーの方を気に入っている。

居酒屋を敬遠して、たまに芝公園のベンチに座ってコップ酒を楽しむことがある。肴はコンビニで買った柿の種とピーナツで、お相伴役は夜空をオレンジ色に染め上げる東京タワー。家人には「オヤジ狩りに遭うからやめなさい」とたしなめられるが、いくら眺めていても飽きることがない。

魔性の存在といってもいい東京タワーが建設されたのは1958年。高さ333メートルで、パリのエッフェル塔を抜き、当時世界一の高さを誇った。

近年映画『ALWAYS 三丁目の夕日』によって注目されたが、戦後復興のシンボルだったのである。

半世紀の間、関東一都六県のテレビ電波塔の役割を果たしてきたが、地上デジタル波の時代に主役をスカイツリーに譲り渡し、予備塔の立場に甘んじるようになった。

そんな東京タワーの転換点は昭和から平成に替わった直後。高層ビルが増え、存在感が薄れてきた頃で、照明デザイナーの石井幹子さんがライトアップを試み、見事によみがえった。

芥川賞作家の日野啓三さんは東京タワー近くの慈恵医大病院に入り、腎臓がんと闘病生活を続けていたが、「たった一人になる夜の間に、東京タワーだけが心の救いだった」と心境を明らかにしていた。

東京の象徴は今後どうなるのか。エッフェル塔は世界遺産に指定された。東京タワーにもその資格はあると思いたいが、そのためにはもっと多くの人に魔性のとりこになってもらわなければ。（了）

新生医局懇親会誕生と 中田七百子秘書の送別

近森病院放射線科部長
医局長 森田 賢



理事長からは花束と中田さんへのお礼の話が、下は36年間の思い出を振り返る中田秘書。「医局の母」として頼られた。



キャプション

昭和51年1月16日から近森会の全科医師が毎週一堂に会して行う「医局会」が始まりました。ちなみに当時の医局員は総勢14名だったとのことでした。

それから実に36年にわたり、毎週「医局会」は開かれ、1週間の死亡例の報告、新入医局員の紹介や退職医師の挨拶、連絡事項の伝達、理事長の大事な挨拶などを、肅々として行なってきました。

現在進行中の近森病院全体の一大事業「5カ年計画」が最終段階となり、医局会を長年行ってきた総合医局のある本館が取り壊され、11階建ての新

本館として生まれ変わる工事が始まることとなり、医局会も5月を最後に終了することとなりました。

医局員が119名にもなった現在、今までのような医局会が果たして必要か議論となりましたが、他科との交流が少なくなっている現在においてこそ新しい形の医局会が必要であり、医局員だけではなく他の病院スタッフとの交流も図れる場となる「新生医局懇親会」を毎月1回行うこととなりました。6月13日に第一回を行いました。今後にご期待ください。

総合医局閉鎖に伴い、医局会の開始直後の昭和51年2月6日より、ただ



一人の専属医局秘書として定年後の嘱託も含め36年の長きに渡り勤務していただいた中田さんにも、惜しまれつつ退職の日が訪れました。

近森会の目覚ましい発展過程を全部見てこられた「生き証人」ともいべき方の退職は寂しい限りですが、これからは仕事のない自由で気ままな生活を送られる事を願っています。長い間有り難うございました、そしてほんとうにご苦労様でした。

もりた まさる

お弁当拝見 5



愛妻(?) 弁当

近森病院教育専従看護師長
森本 志保



夫の転勤に伴い、4月からお弁当を作るようになりました。「お弁当拝見」コーナーの原稿依頼があり、何を書こうか悩んでいましたが、今回は私の作るお弁当へのコメントを夫に聞いてみましたのでご紹介します。

「前の職場では食堂や売店がすぐあったので、お弁当を作ってもらわなくても不便を感じることはあまりありませんでした。でも4月の人事異動

で新しい職場に出ると、そこには近くに食堂も喫茶店もない上に、現場に出る機会が多くなって、お弁当の注文もできない事態に陥ることもしばしば、そんなとき持たされる『愛妻(?) 弁当』には本当に感謝しています。やはり仕出しの弁当よりも朝作ってくれるお弁当のほうがおいしく感じます。

このお弁当を更においしくするには、天気の良い日に外に出て食べるこ

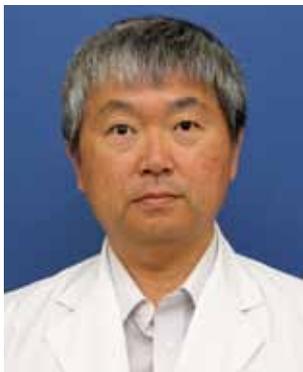
とです。きれいな景色を見ながら食べるお弁当はまた格別です。皆さんも食べる場所を変えてみると気分転換になっていいと思いますよ」

以上、夫のコメントです。いいことも書いているようなので、これからは頑張ってお弁当を作っていきたいと思っています。 もりもと しほ

乞！熱烈応援

いま思うこと

近森病院第二分院精神科部長
尾花 智



この度、精神科部長を拝命しました。これまでのスタンスを守りながらもレベルアップに努め、より一層精神科医療に貢献できるように努めていきたいと思えます。

最近、年のせいかこれから何ができるのか考えることが多くなりました。現在、病院以外に幼稚園や公的機関とも関わっています。精神科医として経験し学び考えてきたことを何らかの形で社会に役立てられたらと考え模索中です。アドバイスをいただきながら頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願ひします。

おばな さとし

チームワークを大切に

近森病院救命救急病棟看護師主任
増井 麻佳



私の母も同じ仕事をしていて、私の現在の年齢と似たようなところに主任になりました。

忙しそうではありましたが頑張っていた姿を、今回のお話をいただいた時にふいに思い出し、私にも時期が来たのであれば、自分にできることを私も精一杯やろう、と心に決めました。

チーム医療の大切さや、素晴らしさを実感している今だからこそ、チームワークを大切にできる、主任を目指し日々精進していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

ますい あさか

やりがいのある 職場の環境づくりを

近森病院看護部主任シニア看護師長
吉永 富美



北館の完成で病棟編成を大幅に変え、患者、スタッフのほとんどが異動となりました。準備や運用の取り決めなど、他職種や他院のスタッフからもたくさんの協力を得て、無事終了できました。近森の、目的をもったスタッフの起動力、行動力は素晴らしく、「さすが近森」の組織力を実感しました。

スタッフ一人ひとりが持っている最大限の力を発揮できるように連絡、調整を行い、楽しくやりがいのある職場の環境づくりができたかと考えています。近森らしい元気な職場を作るために現場のスタッフとたくさん話をし、意見をもらいたいと考えています。

よしなが ふみ

新シリーズ・ワイン講座 ● 1

ロワール川流域のワインについて

ロワール川流域のお薦めワイン
左・クレマン・ド・ロワール
(スパークリング) / ミ
ショー右・トゥーレーヌ・
ソーヴィニヨン/ピュズラ

有限会社鬼田酒店
代表 鬼田 知明



パリ西南部に広がるフランスで最も美しい庭園と葡萄畑が広がる地方です。パリに次ぐ観光地といっても過言ではないでしょう。

フランスで一番長い全長約 1000km にわたるロワール川流域に沿って葡萄畑は広がり、四つの地域に分けられています。大西洋の河口からナント地域、



アンジュー & ソーミュール地域、トゥーレーヌ地域、中央フランス地域となっています。

産出されるワインも、赤、白、ロゼ、発泡性ワイン、そして辛口、甘口、貴腐ワインと多彩です。

これからの季節にピッタリな爽やかな風味の白ワインや、ちょっと疲れた時に自然に手が伸びてしまう、優しく、豊かな果実のエキスタっぷりな自然派の生産者ワインです。

白ワインは、果実味、甘味、酸味のバランスが調和している白ワインの宝庫です。赤ワインは、北部にありながらも、ボルドー、ブルゴーニュ、ローヌと同様に数えられる銘醸地として知られています。

きだ ともあき

より良いサービスに向け

社会福祉法人ファミーユ高知
事務長補佐 川添 莊平



当法人は障害者の自立に向けた支援を法人理念に基づき日々行っています。私たち事務職は、支援を行う支援員の皆さんがより良い環境で支援を行えるようサポートを行なっています。今後とも利用者の皆さんにより良いサービスを提供出来るよう務めてまいります。皆さまのご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

かわぞえ そうへい

第一回摂食嚥下講習会について

がん治療における
口腔ケアの方法など



近森病院 HCU 看護師長
佐野 登代子

6月11日(月)保湿剤(オーラルバランス)などを販売されているT&K株式会社の神林美帆先生をお招きし、「急性期における簡単で効率的な口腔ケア」について実技を交えた講習会を開催しました。

講習のなかで保清と保湿の重要性やがん治療における口腔ケアの具体的な方法等についてのお話があり、実技ではスポンジブラシとオーラルバランスを使用してのケアを体験しました。

月曜日の午後5時30分から約2時間近い講習でしたが、105名の参加が

あり、アンケート結果でも「たいへん良かった」、「現場での活用もできる」とたいへん好評でした。

当院の摂食嚥下委員会は、看護師が代表で行ってきましたが、今年度から、副院長である北村先生が委員長に、副委員長に脳外科の西本先生が就任され、今後さらに活動の場を増やし、患者の口腔衛生や機能管理に力を入れていきたいと思えます。

さの とよこ



講演中の神林美帆先生

訪問看護ステーションの引っ越し

6月22日(金)に訪問看護ステーションが、シー・エイチ・アイビル4階から、管理棟4階へ引っ越してきました。今後ともよろしくお願ひします

【連絡先】〒780-0056 高知市北本町一丁目1-28 近森病院管理棟4階
TEL: 088-875-8697 FAX: 088-822-3279



黒潮町Tシャツアート展で
賞をいただきました



近森病院臨床栄養部
管理栄養士
小西 沙苗



小物作りも得意

高知に来て2年目の春。なんて魅力的な！と飛びついたのは、黒潮町の砂浜美術館で開催されるTシャツアート展でした。

せっかくきれいな空と海を背景にできるのなら、と考えた結果、大きな傘につかまって、空をぷかぷか漂うこと

にしました。ひとりではつまらないので、おそろいの傘を持って、ふたりで。広い砂浜に、それぞれ気持ちがこもった1000枚のTシャツひらひら。おまけに素敵な賞までいただいて。しばらくは高知を離れられそうにありません。

こにし さなえ

管理部長の
こだわりヘルシー美食 28

近森会管理部長 川添 昇



最近、鯉の酒盗にハマっている。高知の「F辰」の製品だが品質が随分向上してきていると思う。

以前は11月より3月ごろまでの冬限定ものを食していたが、フルシーズンもの(甘口)もいける。

若い鯉の刺身にちよこんと乗せると美味しいのは当たり前だが、アスパラガスにマヨネーズとともに付けて食しても意外と相性は良かった。アスパラガスを送って来てくれた北海道の友人は、酒盗が苦手のようなが美味しいものは美味しい。スマン！ 今や食卓の友、酒盗である。

「冷奴とアボガドのサラダ」



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

〈材料〉

- ㊶冷奴 — 柚子風味の青海苔乗せのものが好ましい。
- ㊷アボガド
- ㊸ロースハム — こだわりはない。あくまで色どり。
- ㊹オリーブオイル、レモン汁、塩適宜 お好みの味で。
- ㊺粗挽き黒胡椒

〈作り方〉

- ①㊶を軽く水切りし、㊷とともに2センチ角のサイコロに切る。
- ②㊸を同じ大きさに切り㊹を混ぜ合わせる。
- ③①と②をガラス鉢などに盛り合わせラップをして冷凍庫で10分ぐらい置いて粗挽きの黒胡椒を散らす。

〈食し方〉

一口で食べるだけの量を取り別皿の酒盗を加えて食す。すべて混ぜ合わせてしまうのは好みもあって好ましくない。さっぱり食したい人もいる。アボガドは濃厚かつ品のいい食材である。ロースハムの代わりに鯖の赤身にしてもいい。鯖の赤錆びの匂いが旨味を一段と増してくれる。

これもやはりキリキリ冷やした辛口のスパークリングワインや白ワインが合う。梅雨時のしっとりとした夕暮れ時に庭を眺めながら来し方の感慨にふける(?)のもオジサンの幸せかも知れない。

外務省から 感謝状を いただきました

近森病院救命救急センター
科長 井原 則之



昨年2月22日午後12時51分（日本時間午前8時51分）に発生したニュージーランド・クライストチャーチ地震において、国際緊急援助隊救助チームが日本から派遣され、現地での捜索救助活動を行いました。

このチームは全国の消防、警察、海

上保安庁の選抜救助隊員と外務省、JICA職員、捜索救助犬、医療班で構成されています。オレンジの救助服を着装し、成田国際空港から出発するシーンは、ニュースでも報道されました。

今回、医療班メディカルマネー



ジャーとして現地に派遣され、救助隊員らの健康管理や、医療対応を行いました。捜索救助犬への医療対応も行いました。

捜索により生存者が発見されれば救命活動を行いますが、結果としてご家族の方々の期待に応えることが出来ず、心が刺されるように痛むばかりでした。

今回のこの活動に対して、皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁を許されるとともに、外務省から上のような感謝状をいただきましたので報告します。

いはら のりゆき

数字でみる近森会グループ 2011年度の実績

2011年4月～2012年3月

近森会グループ全体	近森病院	近森病院
職員数 1,500 人 委託を含む実質的な職員規模は約1,787人となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々、患者さんをサポートしています。	救急車搬入件数 5,359 件 院内救急車出動件数 96件 ドクターカー出動件数 66件	手術件数 5,181 件 急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜、祝日関係なく、一日あたり約14件の手術数です。
近森病院 延べ外来患者数 138,690 人 地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。外来患者さんは1日平均（平日）400人を超えます。	近森病院 延べ入院患者数 122,481 人 急性期病院として一般病床338床を確保しています。常時入院中の患者さんは、平均で330人になります。	近森病院 退院患者数 8,343 人 近森病院に入院されている患者さんの平均的な入院日数は、14日～15日です。
近森病院 精神科グループ 急性期治療病棟平均在院日数 48 日 デイケアパティオ 通所者1日平均20名 メンタルクリニックデイケア 通所者1日平均39名 訪問看護ラポールちかもり 月平均234名	近森リハビリテーション病院 在宅復帰率 76.7% 退院患者数 599名 重症患者割合 34.9% （日常生活機能評価10点以上）	近森オルソリハビリテーション病院 病床稼働率 95.12% 在宅復帰率（施設基準による） 亜急性期病床 69.04% 回復期病床 83.73% ※亜急性期は在院日数60日を超えての在宅復帰者は除外。

ハッスル研修医 2012

2カ月を終えての感想



初期臨床研修医
佐島 和晃

神経内科をローテーションさせていただいています。毎日新しい知識や情報がどんどん入ってきて、充実しているといえれば充実しているし、大変だといえれば大変です。

神経内科は他の内科と比べて、問診や身体診察にける時間がすこし多く、必然的に患者さんとのコミュニケーションをとる時間も長くなります。その結果患者さんと信頼関係を築けたと感じられたときはうれしいという反面、神経難病をムンテラしないといけない時はその分辛いという一面もあります。

今は大体午前8時集合ですが、7時58分の時点でまだ向かうエレベーターに乗って焦っているということが多く、当面の目標は早起きをして時間に余裕をもてるようになることです。

一つの科を大体2～3か月で回る予定なのですが、今の自分の感覚だと一つの科が大体わかるようになるまで2～3年はかかるかなと、いった印象です。でも、なるべくたくさん科を回りたいし……。どうすればいいんでしょう（笑）

さじま かずあき

● ● 薬剤師の病棟業務の取り組み ● ●

病棟で薬剤師、管理栄養士、看護師、理学療法士が情報交換を行う

患者さんの傍らで

薬剤部部長
筒井 由佳



この春は、私たち病院薬剤師にとって大きな節目となる二つの出来事がありました。6年制の教育を受けた薬剤師が医療の現場に誕生したこと。もう一つは、これまで多くの病院で薬剤師が病棟業務に取り組んできたことが、「病棟薬剤業務実施加算」として点数評価されたことです。

薬剤師は単にお薬を調剤して渡すだけの仕事でなく、一日も早く患者さんに元気になっていただけるよう、医師や看護師等のスタッフとともに「病棟において、薬物療法をサポートするため」に働く仕事だということを心に刻む機会となりました。

当院薬剤部では20年以上前、一部病棟で週1回、半日だけの病棟業務を開始しました。その後、院外処方箋の発行を機に入院患者さんへの服薬指導に積極的に取り組み、現在では集中病棟を含む11病棟すべてに薬剤師が常駐しています。多くの病棟に薬剤師を配置するために薬剤の在庫管理や搬送は外部（SPD）に委託し、年々増加する持参薬の鑑別や統計業務などは薬剤業務補助員を採用して対応するなど業務を絞り込み、薬剤師は薬剤師にしかできない業務に集中できる環境を整えてきました。

ベッドサイドで



病棟では患者さんへの服薬指導のほかスタッフからの薬剤に対する問い合わせへの対応、持参薬の管理、腎機能に応じた投与量の提案、薬剤相互作用の確認など、薬剤の適正使用に関わるさまざまな業務を行っています。また薬物療法では避けられない副作用に、いち早く気づくことも重要な役割です。

節目の年を迎え、ユニフォームも

活動しやすいワークウェアに変更しました。「もっともっと患者さんのもとに足を運び、専門職として薬学的に患者さんを診ることができると薬剤師を目指そう！」と薬剤部一同、決意を新たにしています。

つつい ゆか

リレーエッセイ

リハもフットサルもチームアプローチ！

近森リハビリテーション病院
作業療法科主任 川崎 陽嗣



私は当院で約11年間、作業療法士として働いています。就職したての頃は自分が描いた理想と現実のギャップに落ち込むことが多かったことを今でも思い出します。

そんな私が自分を出せる場所はフットサルでした。当院の職員を中心にビッグフットというフットサルチームを立ち上げフットサル高知県リーグに所属し10年間活動を継続しています。

フットサルを通じ、公私ともに自分を支えてくれている仲間や先輩の存在の大きさに気づかされるのが度々あります。フットサルは交代要員含め12人で行うスポーツです。

自分ひとりでは勝利をつかみ取ること

は不可能です。時には考え方が違い、メンバー同士が衝突することもあります。しかし、お互い勝利という同じ目標を目指しているので熱く語り合い、最終的には一致団結して目標に向かって進むことができます。これはリハビリテーションにおけるチームアプローチに通じるところがあると思います。

勝利という目標に向け日頃の業務もフットサルも熱く語り合い、すばらしいチームアプローチを展開できるように日々、頑張っています！尚、ビッグフットは、練習生やマネージャーも募集中です。一緒にボールけりませんか。

かわさき ようじ

じつは…

今年も腕試しのつもりでした！



本年度の合格者は全国17人の狭き門だった

よさこいは10年ぶりくらいに復帰して2年連続出て、「今年は卒業!」。これは一昨年の気に入りの一枚



医療機器を扱う専門家

合格率 12.7%

「血液浄化専門臨床工学技士」とは、社団法人日本臨床工学技士会が認定する資格で、「透析技術認定士」(透析合同専門委員会認定)の上位資格となる。

具体的には、血液透析などの知識はむろん、透析室の設計、関連法規、その他多岐にわたり、専門的な治療と総合的な管理能力が問われている。受験の資格そのもののハードルも高い。しかも、第4回目の認定試験の行なわれた23年度の合格率はわずかに12.7%というから、司法試験なみの難しさといえるのかも知れない。

この試験に血液浄化チームの岡本歌織さんが合格した。深田和生技士長曰く、「本来なら自分が取らなければならぬのに、あまりの合格率の低さにメゲてしまい、彼女が代わって取ってくれました。彼女には数年前から新人教育と水質管理をやってもらっていて、透析室の質の向上にすごく貢献してくれています。彼女によるとこの合格は神が降臨した、ということですが、きっとこれが実力でしょう」とのこと。認定制度が始まって3年、この資格は高知県内初となるらしい。

こういった話は鼻高々でアピールできそうだが、歌織さんは意外と口が重たい。どちらかというと人見知りだし、自分を売り込むのも得意ではない世渡り下手とでもいうのだろうか。

高校時代に進学先を考えたとき、生涯続けられる社会に不可欠な仕事として病院で働くことはすぐに思いついたが、だからといって看護師という職種はおよそイメージできなかった。こじつけるとすれば仲良しの叔母が検査室で働いていたのが臨床工学技士を志すきっかけになったかも知れない、という。理科や化学の授業が好きだったし、四国医療工学専門学校の一期生として「医療機器を扱う専門家」の道を歩む現在が、歌織さんにはいちばん納得できるコースでもあるのだろう。

透析医療は深刻な腎不全の患者さんの社会復帰を可能にする極めて有効な治療法といえ、そんな患者さんの社会復帰の手伝いが、具体的にできているのが仕事のやり甲斐に繋がるという。深刻な病気に負けていない患者さんの前向きな姿勢が性に合うのだろう。

一日4時間、週3回の治療は、健康な人から見ればかなり厳しい日程ともいえるが、「この治療を受けることにより、病気でも自分のやりたいことができる。だからご自分の仕事と思って通ってください」。こんな風に患者さんにはお話しているという。

趣味はどうしても見つかりませんが…

人物ルポの取材のためにと趣味を一所懸命さがしたが、どうしても見つからなかった。昔は音楽も聴いていたし、

小学生の頃からクッキーやパンを作るのは大好きだった。でも、いつの間にか全くなくなったし…。

だからといって、いまの生活が殺伐としているかということ、「自分のしたいことが自分のペースでできるこの生活を崩したくない」という満足感と充実感があるのだそうだ。

たまに息抜きにビールを呑みに行くのは嬉しいし、職場で美味しいワインを呑める機会に恵まされると、「ワインって実はこんなに美味しいのだ〜」と、これも充実感を味わえる幸せなひとときになっている。

お知らせ

◆第98回地域医療講演会

「リワークの道しるべ」

日時：平成24年7月13日(金)

17:45～20:30(開場:17:20)

場所：近森病院管理棟3階大会議室

定員：150名先着順 *入場無料

1.『地域・デイクア・病院の連携のあり方』

長谷川 直実先生(デイクアクリニック)

ほっとステーション院長)

2.『就労にいかす森田療法』

山田 秀世先生

(大通公園メンタルクリニック院長)

◆第16回公開県民講座

ハートセンター10周年記念講演

日時：平成24年9月9日(日)

14:00～16:00(開場13:30)

場所：高知市文化プラザかるぼーと

●講師(順不同)

岡山大学学長

森田潔先生

東京医科大学循環器内科教授

山科章先生

順天堂大学心臓血管外科教授

天野篤先生

編集室通信

人からプレゼントを貰うと嬉しいですよね？でも、それ以上にプレゼントした時の方が満足していることってないですか。「される」以上に「する」方が相手の喜ぶ顔を想像したりしていつまでも記憶に残っています。医療従事者の気持ちに近づけたのでしょうか……(山リー)

図書室便り (2012年5月受入分)

- ・プロメテウス解剖学アトラス 頸部、胸部、腹部・骨盤部／坂井建雄(監訳)
- ・プロメテウス解剖学アトラス 頭部、神経解剖／坂井建雄(監訳)
- ・サーベイランスのためのCDCガイドライン改訂5版NHSNマニュアル(2011年版)より／森兼啓太(訳)
- ・医療用医薬品識別ハンドブック2012／医薬情報研究所(編集)
- ・病院設備シリーズ11 医療機器と建築・設備のインターフェイス、12 病院設備の保守管理／日本医療福祉設備協会(編集)《別冊・増刊号》
- ・別冊 医学のあゆみ JRC(日本版)ガイドライン2010ー救急蘇生ガイドラインの国際協力による作成プロセスとその概要／坂本哲也(編集)

- ・月刊 Medical Technology 別冊 超音波エキスパート12 胎児エコースクリーニングから精密検査までー
- ・別冊 NHK きょうの健康 腰痛なぜ治らない あなたの痛み／菊池臣一(総監修)
- ・デンタルハイジーン別冊「考える歯科衛生士」のための歯周治療レッスンブック／浦口良治(他編著)
- ・泌尿器ケア2012 夏季増刊患者説明にそのまま使える！よくわかる泌尿器科検査の知識／山口秋人(監修)
- ・透析ケア2012 夏季増刊保存版イラスト図解腎臓・透析療法・透析患者の体のすべて／中井洋(編集)
- ・呼吸器ケア2012 夏季増刊なぜ起こる？どう防ぐ？イラストでわかる人工呼吸器合併症の予防&ケア／妙中信之(監修)

2012年5月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	18,192人
新入院患者数	877人
退院患者数	867人
近森病院	
平均在院日数	13.82日
地域医療支援病院紹介率	87.70%
救急車搬入件数	475件
うち入院件数	260件
手術件数	413件
うち手術室実施	288件
→うち全身麻酔件数	173件

●平成24年5月度県外出張件数 53件延べ人数103人 ●